事例No.	1416
公表年度	R3
団体の属性	指定都市
団体名	福岡県北九州市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用 ・人材確保・育成

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

地域課題である放置竹林の対策

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

福岡県　北九州市（地域課題である放置竹林の対策）

- 北九州市の地域課題である「放置竹林」に対しては、令和2年度から森林環境譲与税を活用して、対策事業を進めている。
- 平成30年度に策定した竹林活用マスタープランで特定された竹林のタイプ別に放置竹林対策を展開している。
- また、市民参加型の竹林整備から竹の活用までの一貫した対策の取組に対する助成を事業化するために、令和2年度はモデル的な取組への助成及び検証を行った。

□　事業内容

1　竹侵食最前線での放置竹林対策（除竹）

- 人工林や広葉樹への侵入竹について、放置竹林化の最前線と捉え、竹の伐採を実施。

【事　業　費】9,475千円（うち譲与税9,440千円）
【実　　績】公有林　5.54ha

2　災害可能性箇所での放置竹林対策（竹転）

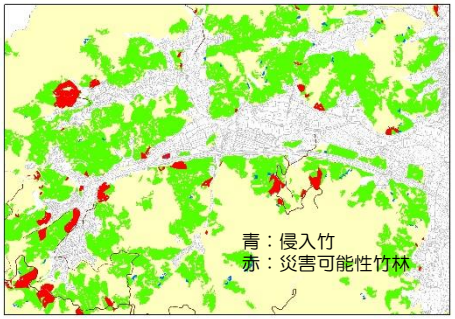
- 危険性の高い竹林を伐採し、広葉樹の植林を実施。

【事　業　費】20,194千円（全額譲与税）
【実　　績】私有林　4.8ha

3　市民参加型竹林管理の検証

- 市民参加型による放置竹林対策として、竹林整備からイベント等での竹林活用までの一貫した対策の取組の検証。

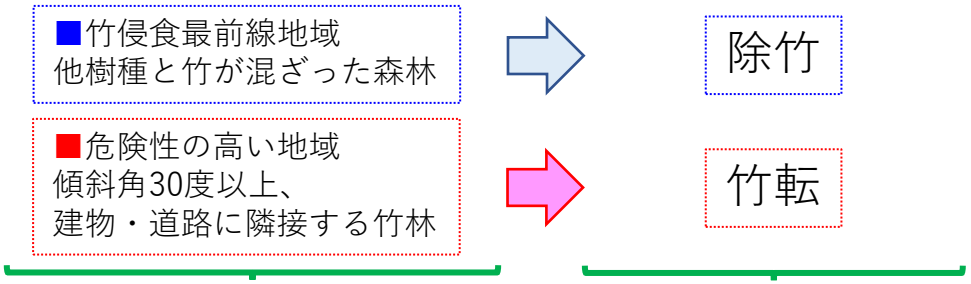
【事　業　費】1,980千円（全額譲与税）
【実　　績】放置竹林0.45haを市民50人で整備
約20トンの竹材を活用



放置竹林箇所図


事業2：竹転箇所

□　事業スキーム（事業１・２）



□　工夫・留意した点

- 事業３の取組で発生した竹はイベントでの竹灯籠に活用され、市民の放置竹林対策への関心を高めることができた。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	92,042千円
②私有林人工林面積（※1）	3,503ha
③林野率（※２）	40%
④人口（※３）	961,286人
⑤林業就業者数（※３）	61人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より